

ワイスポ通信

「粉から作る、『チキンラーメン作り』を楽しむ！」

雨にも負けず「秋ハイキング」に参加！

令和7年11月9日（日）に、「ワイワイ秋の『チキンラーメン作り』ハイキング」が、雨の降る中、出発時間を遅らせて開催された。

申込した45人の参加者は、誰一人遅れることなく、阪急電車各駅に12時に集合し「カップヌードルミュージアム大阪池田」を目指し出発した。

「チキンラーメンファクトリー」では、二人がペアになり小麦粉から作るチキンラーメン作りを楽しんだ。

今年の秋ハイキングは、雨天のため、集合時間を12時に変更し開催された。

参加者は、子ども21人、大人19人、スタッフ5人の合計45人が参加して実施された。

阪急電車の洛西口駅・東向日駅から乗ってきた参加者と、西向日駅から乗り込んだ参加者が合流し、「カップヌードルミュージアム大阪池田」を目指し出発した。

参加した子ども達は、五月山公園での昼食や遊園地・動物園での



集合写真は、雨天のためミュージアム内の撮影となった

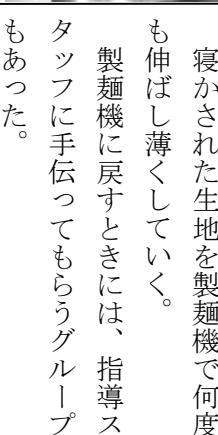
粉をこねる様子



麺棒で押え長方形に成形



製麺機で何回も伸ばしていく



楽しみが雨のためカットされ、少し元気がないようであった。

「ミュージアム」に到着した参加者は、「チキンラーメンファクトリー」へ移動。

渡された番号札のテーブルに用意された「エプロン」と「ひよこちゃんバンダナ」を着け、準備完了。

作業台の指導スタッフの指示に従って作業を開始。

まず、小麦粉に水を加え素早くこねてひと固まりのボールを作る。

次に、麺棒で均等に抑え折りたたみ生地を長方形の形に整える。

子ども達は、麺棒で押えた時に麺生地からの反発する弾力に苦労しながら押していた。

長方形に折りたたまれた生地を製麺機で伸ばしながら、均等の厚さ（約5ミリ）になるよう交代でハンドルを回して成形。生地をビニール袋に入れ寝かす工程へ。

寝かしている時間を利用し、チキンラーメンを入れるパッケージのデザインを行った。

寝かされた生地を製麺機で何度も伸ばし薄くしていく。

製麺機に戻すときには、指導スタッフに手伝ってもらうグループもあった。

薄く延ばされた生地を最後に切り出し歯にセットし、25cmほどに切つて、切り出された麺をザルに入れて蒸す工程へ。

蒸している間に、パッケージのデザインの続きをし、思い思いのデザインを完成させていた。



生地を製麺機で伸ばして



パッケージデザインの作成



素早くほぐして味付け



出来上がりの確認

蒸し終わった自分の麺を素早くほぐして味をつけ、型に詰め油で揚げる（瞬間湯熱乾燥法）工程へ。揚げられた麺を、作成したマイパッケージに入れて完成。

参加者からは、

「世界で一つのオリジナルチキンラーメンを作ったよ！」「製麺機で何度も繰り返し伸ばすのが楽しかった。」「親子一緒に楽しめるイベントで、大人も遠足気分が味わえて楽しかった。」「袋詰めするとき、スタッフからもらった2、3本の麺が、すごく美味しかった。」「帰りの十三駅の待合室で、家族で、チキンラーメンを一袋ポリポリ食べました。最高に美味しかったです。子ども達、大喜びでした。」



袋詰めして完成！



「インクルーシブ合同運動会」に参加！

乙訓・京都市ブロック交流会が開催される。
(知的障がいの子とも達とのふれ合い)

令和7年11月3日(月・祝)に、京都市立春日野小学校・体育館において「乙訓・京都市ブロック交流会」が開催された。

交流会は、京都日野匠スポーツクラブが計画した、障がい者スポーツ大会「インクルーシブ合同運動会」に参加し、障がい者への対応等について意見交換することを目的として開催。

運動会は、日野匠クラブと他1クラブが合同で計画されていた。参加した子ども達全員が、何らかの知的障がいを持っているとのことであるが、一見したところ健全者と見分けがつかないように思えた。参加者は、子ども達28人、スタッフ15人、ブロック参加者5人、計48人で開催された。



障害物競走
跳び箱に挑戦

障害物競走
ラダーくぐり



綱引きの様子



ムカデ競走(上)の様子
表彰式の金メダル授与



運動会の種目は、①30m障害物競走(跳び箱・ラダーはしご・フラフープ・ポッコリ・マットを利用)、②綱引き、③借り物競走(色分けした札+マスク・絵札+札の物品)、「おやつ」④ムカデ競走、⑤水運びリレー(バケツ・カップ大、小・ペットボトル)、⑥協力してゴールしよう、⑦全員リレーの7種目が行われた。



おやつ(左)借り物競走の様子
水運びリレー(下)の様子



『ブロック研修会』

研修会は、体育館の舞台を利用し行われた。

講師は、日野匠の川瀬氏が担当。

日野匠クラブの取り組みについて

放課後等デイサービスでは、自閉症やダウン症、知的障がいなどの子どもが苦手とする「コミュニケーション」の取り方の指導。

学習能力では、年齢相応の学習が遅れていて、学習が難しい子どもに対し、学校の宿題や個別の学習プログラムを行うことで、自信をつけ学ぶ楽しさや、学習意欲を養うことを指導。

子どもの居場所では、発達に不安がある子ども達が、自分がホットできる場所や自分のことを理解してくれる人たちがいることで安心できる居場所の提供。等の取り組みをされている。

日野匠の取り組みについては、子ども達が持つ障がいの内容をスタッフがよく理解し対応している。また、保護者の要望に合わせて提供できるメニューを検討し、展開されていた。

ワイスポ事務局・運営スタッフを募集しています！

【事務局】スタッフ

イベントなどの企画・立案をしていただける方

広報活動など、ワイスポ通信・ワイスポカレンダー・各種案内をパソコンで作成していただける方

【運営】スタッフ

ワイスポ開催時の受付事務をお手伝いしていただける方

ワイスポ運営に興味のある方は、気軽にワイスポスタッフにお声掛けください。お待ちしております。



ワイスポ事務局への連絡先

●ワイスポ開催時

受付スタッフに直接

●電話での問い合わせ

公益財団法人

向日市スポーツ文化協会

TEL 932-5011

(向日市民体育館内)

《インフルエンザが流行っています！》

急に寒い日が続くようになってきました。

うがい・手洗いをするとともに寒さに負けない体作りに努めましょう。

体調不良の時は休息を！



たけのこりん